

# 平成31年度 第59回 仙台城南高等学校 入学式

## 式 辞

今年は4月に入りまして肌寒い日が続いておりましたが、ようやくここに来て一気に桜の蕾もほころび始め、間もなく、ここ八木山も大変素晴らしい季節を迎えようとしています。

本日、この佳き日に、保護者の皆様、そして、多くの御来賓の御臨席を得て、平成31年度仙台城南高等学校第59回入学式を挙行できますことは、大きな喜びでございます。

ただ今、晴れて仙台城南高等学校の生徒となった「特進科」30名、「探究科」172名、「科学技術科」128名の新入生の皆さん入学おめでとうございます。

また、この日を心待ちにしておられた保護者の皆様に於かれましても、本日は誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、本校は、昭和36年4月、急成長の電子機器産業界を支える技術者の養成が叫ばれるなか多くの期待を受けて、東北電子工業高等学校として開校しました。

以来、時代の流れを捉え、平成6年4月には東北工業大学高等学校、そして、平成25年4月には現在の仙台城南高等学校と校名を変更して今年度で7年目を迎えます。

本校は、「魅力ある教育で未来社会を切り拓く生徒を育成する私立高校」をビジョンに掲げ、本校ならではの、様々な体験や活動など通して、生徒の皆さん、一人一人が、持っている資質や能力を引き出す教育に力を入れています

絶対的な学力を身に付け、難関大学進学を目指す「特進科」、課題解決能力を身に付け大学進学を目指す、まさに21世紀型教育の「探究科」、そして、工業系の高度な資格や技能を身に付け、大学進学や技術者として即戦力を目指す「科学技術科」の3学科を設置し、それぞれが特色ある教育を展開しています。

また、本校は「ICT教育」と「グローバル教育」を二本の柱としています。

「ICT教育」に関しては校舎全域をWi-Fi化し、どの教室や実習室でもタブレット端末を利活用した授業を可能としています。本校は、平成26年に宮城県教育委員会、宮城教育大学、東北工業大学の三者連携で設立された「みやぎのICT教育研究専門部会」の研究実践校にも指定されており、授業におけるタブレット端末の有効活用について、これまで多くの先行事例を県内は元より全国に発信してきました。

また、「グローバル教育」に関しては、平成28年に台湾の「台北市立大理高級中学」と姉妹校締結を結ぶなど、現在は、台湾との交流を軸としながら「グローバル教育」を推進しています。この2月には、台湾の国立新竹高級工業職業学校から、校長先生始め約40名の生徒の皆さんが来校され、本校の生徒達と一緒に授業を受けるなど楽しい時間を過ごしました。また、この6月には先程ご紹介した姉妹校の大理高級中学から先生方がお見えになりインターネットを活用した授業交流などについて、具体的な検討を行うこととしています。

更に、本校教育の最大の特徴は、何と言っても同じ法人下に東北工業大学が有ることです。現在、東北工業大学と本校の職員からなる、高大連携協議会が設置されており、本校生徒に対する学習支援や技術支援などに関して、現在、全国でも類を見ないような、組織的で密度の濃い取組みが、年間を通して計画的に実施されています。

生徒達には、工大で行われている最先端の研究や技術に直接触れることで、それぞれの好奇心や向学心に火が点くことや、普段、受けている高校での授業の大切さに改めて気が付くことを期待しています。

先月、仙台城南高校として第4期生となる生徒達が卒業しました。大学進学に関しては、今回も特進科ばかりでなく探究科や科学技術科からも国公立大学を目指す生徒が増え、これが更に大きな流れに繋がればと思っています。

また、工大には111名の生徒が進学しました。工大は、来年度、現在の工学部それからライフデザイン学部に加え建築学部を新設することから、工大人気が校内でも更に高まるものと思っています。

就職に関しても、希望した生徒全員が年内に内定を頂き、この4月には新社会人として元気にスタートしています。

最近の生徒達の活躍も目覚ましく、部活動では、本校の伝統部であるレスリング部や空手道部の活躍は勿論のこと、サッカー部や野球部の活躍に加え、今やダンス部は全国トップレベルです。また、フェンシング部は、この3月に愛媛県で行われた全国選抜大会男子エペ学校対抗戦で全国優勝を果たし、今後の活躍を楽しみにしています。

その他、自然科学部は校内に生息している準絶滅危惧種に指定されているトウホクサンショウウオの研究で頑張っています。また、吹奏学部も少人数ながらも全国吹奏楽コンクール県大会では3年連続の金賞を頂くなど、チームワークの良さで光っています。

また、科学技術科生も、3月に卒業した科学技術科の女子生徒が、学生日本一決定戦「情報ネットワーク施工部門」で上位入賞し、その結果、女子高校生としては全国では初めて11月に沖縄で開催された技能五輪に出場しました。

また、取得した資格の難易度で評価される全国工業高校校長協会主催のジュニアマイスター顕彰では科学技術科の生徒2名が特別表彰、更に、そのうちの1名が、全国では14名しか受賞しなかった理事長賞を頂きました。

ただ今御紹介させて頂いたのはほんの一例であり、仙台城南高校に学ぶ生徒達の成長の芽が、あちらこちらで、少しずつではありますが育ち始めていることを大変嬉しく思っています。

校内には「3年後のキミが自慢」と言うポスターを掲げています。これには「生徒の皆さんには、在学中に、多くの体験や活動を通して様々な物を吸収し、3年後には、逞しい生徒に成長して欲しい」と言う「願いと期待」、そして、逞しく育った皆さん一人一人が本校の「自慢の生徒」と言う「気持ち」が込められています。

間もなく「令和」の時代が始まります。新しい時代を支えるのは、間違いなく皆さん方ですが、一方で、予測困難な時代とも言われています。

将来、どのような状況に置かれても柔軟な力が発揮できるよう、仙台城南高校での3年間、勉学に熱中するのもよし、部活動や生徒会活動に熱中するのもよし、国際交流やボランティア活動に熱中するのもよし、まずは自分の得意な部分を伸ばしながら、「知・徳・体」のバランスのとれた生徒に育てて欲しいと思っています。

いよいよ、今日から高校生活がスタートします。ここ仙台城南高校を新しい学び舎として、新しい仲間と共に、一日一日を大切にしながら、充実した毎日を過ごして下さい。

新入生がこの3年間で逞しく成長し、卒業時には、それぞれ希望した進路に進むことができますよう、教職員一同、全力で支えて参ります。保護者の皆様、並びに、関係の皆様には、今後とも、本校への御理解、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、本日、御多様の中、御臨席を賜りました多くの皆様には、改めまして、厚く御礼申し上げ、式辞といたします。

平成31年4月8日

仙台城南高等学校 校長 中川西 剛